



株式会社 電算システム
ホールディングス

電算システムホールディングス 2022年12月期 第3四半期決算説明資料

東証プライム・名証プレミア 証券コード:4072

本資料中の将来にわたる記述は、現時点での推測・予測に基づくものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。このため、将来の業績について保証するものではなく、実際の業績が、経営環境の変化等により予測と異なる結果になることがありますことをご承知おきください。

資料の数値に関しましては百万単位で切り捨てておりますので表中の合計値が一致しない場合があります。

%表記においては小数点第2位を四捨五入して記載しております。

目次

• 2022年12月期 第3Q 業績ハイライト	P 3
• 2022年12月期 第3Q 四半期ごとの業績推移	P 5
• 2022年12月期 第3Q セグメント別	P 6
• 2022年12月期 第3Q 情報サービス サマリー	P 7
• 2022年12月期 第3Q 情報サービス 詳細	P 8
• 2022年12月期 第3Q 収納代行サービス サマリー	P10
• 2022年12月期 第3Q 収納代行サービス 詳細	P11
• 2022年12月期 第3Q トピックス	P13
• 参考資料 収納代行サービスサブセグメント	P14
• 配当	P15

()内:前期比

売上高

379.95億円
(5.1% Up)

営業利益

18.48億円
(9.0% Down)

親会社株式に帰属する純利益

13.85億円
(8.4% Up)

業績について

- ✓ 前期より、売上は上回ったが、営業利益が下回った
- ✓ PSI社の契約で、引き当て処理が発生した
- ✓ 新収益基準と円安が業績に影響した
- ✓ 通期見込みは達成できる予定

〔単位:百万円〕

- ✓ 9月から刈り取りを予定通り始めたが、第3Q でのPSI社の引き当て処理の影響は残った
- ✓ 進捗率は厳しい数字だが、計画通りになる予定

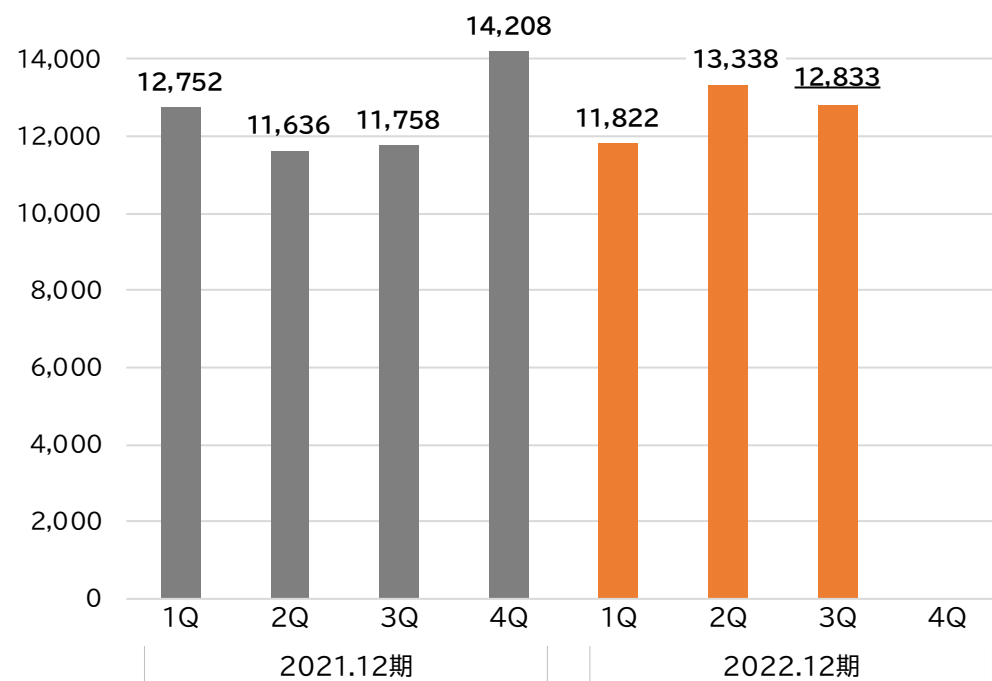
	2021.12期 3Q累計	2022.12期 3Q累計	前年同期比率	通期計画	進捗率
売上高	36,147	37,995	5.1%	55,500	68.5%
営業利益	2,031	1,848	▲9.0%	3,270	56.5%
利益率	5.6%	4.9%	-	5.9%	
経常利益	2,097	2,109	0.6%	3,290	64.1%
利益率	5.8%	5.6%	-	5.9%	
当期純利益	1,278	1,385	8.4%	2,247	61.7%

2022年12月期 第3Q 四半期ごとの業績推移

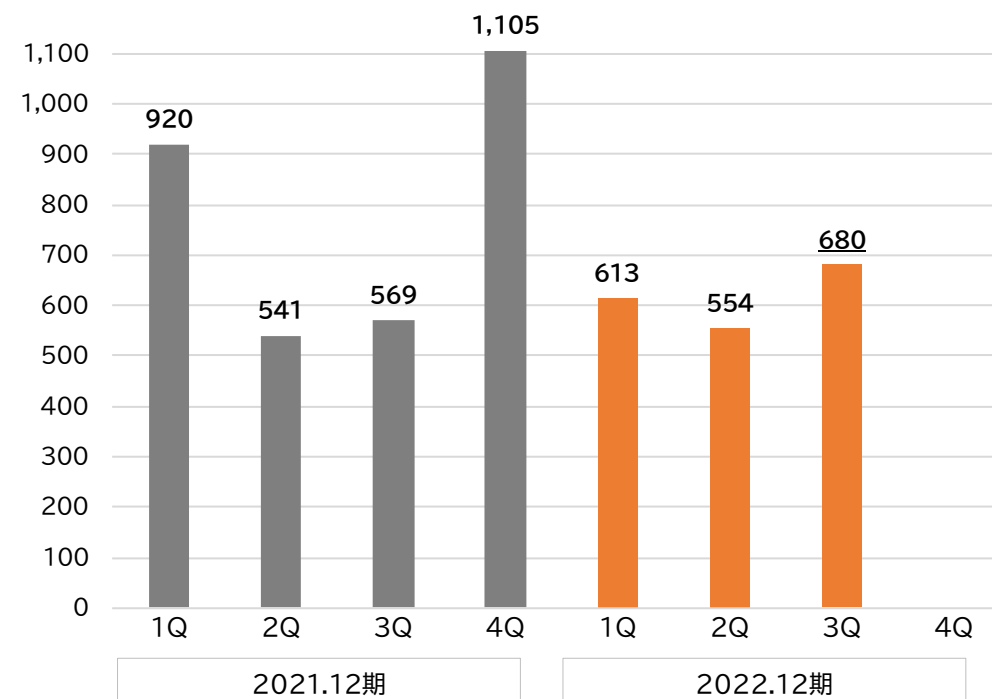
〔単位:百万円〕

- ✓ 第3Qは、第1Q、第2Qに比べて、営業利益率が上がった
- ✓ 第3Qは、PSI社の引き当て処理がなかったら、もっと利益は良くなった

売上高



営業利益

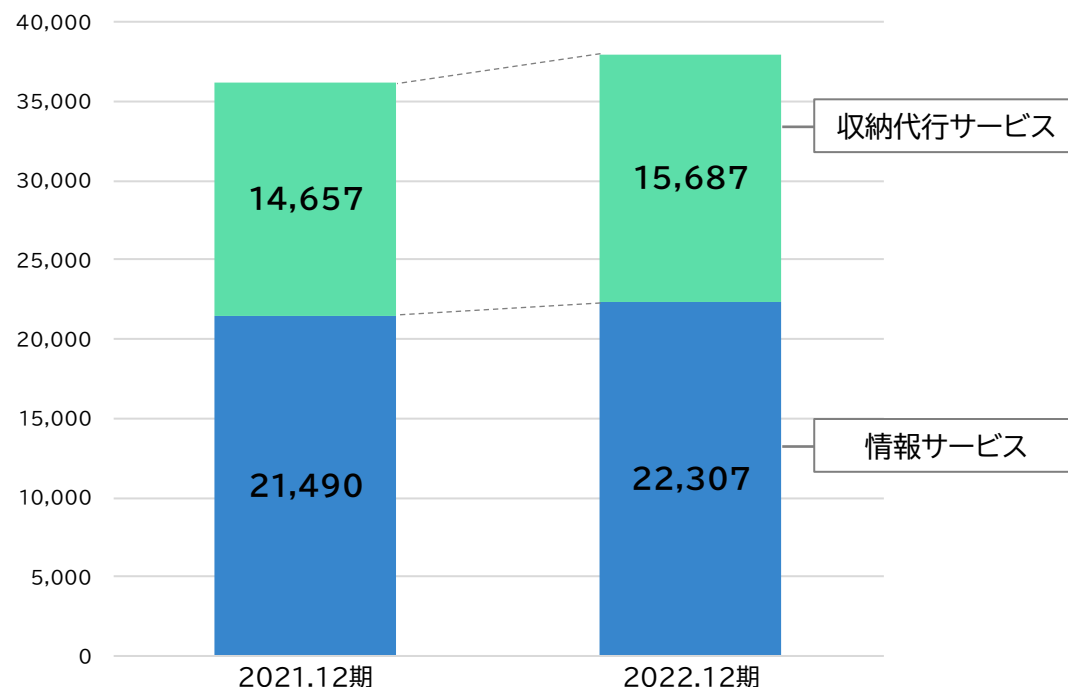


2022年12月期 第3Q セグメント別

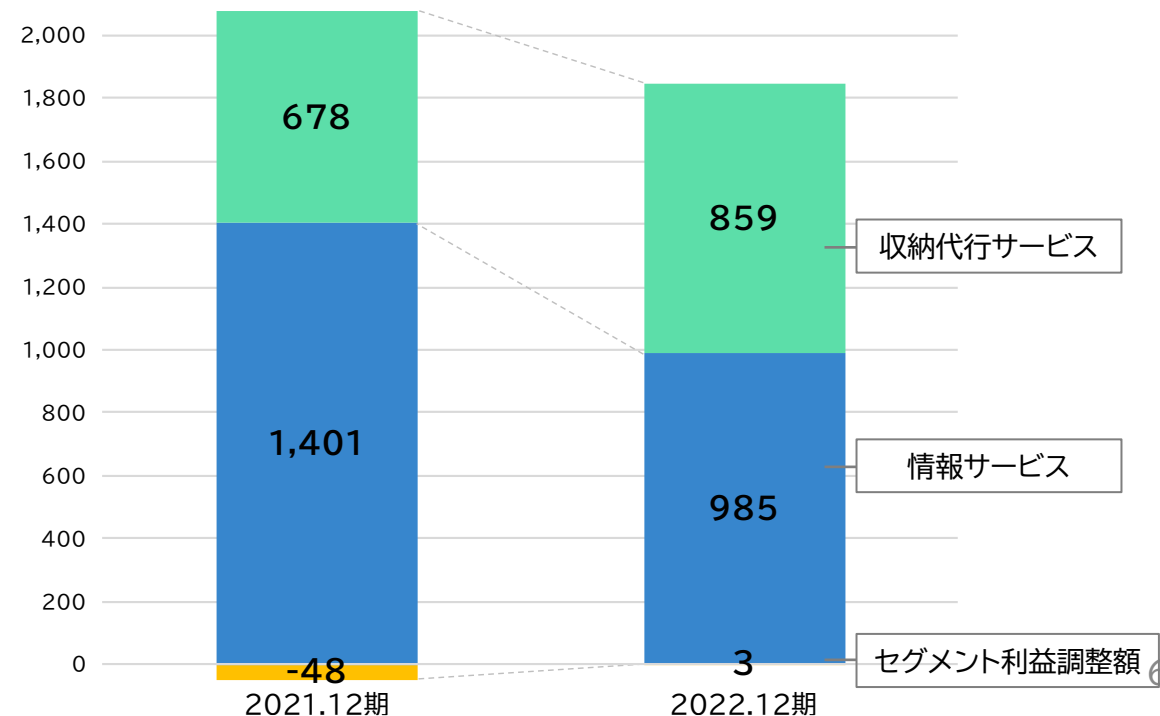
〔単位:百万円〕

- ✓ 売上は情報処理サービス、収納代行サービスともに前期を上回った
- ✓ 情報サービスは、新収益基準、円安の影響により営業利益は下がった
- ✓ 収納代行サービスの営業利益の増加は、未稼働だった新規獲得先の稼働によるもの

売上高



営業利益



〔単位:百万円〕

- ✓ SI・ソフト開発では、GIGAスクールの反動で売上が大きく伸びなかったが、ソフト開発とGoogle Workspaceが好調
- ✓ 情報処理は、請求書作成代行の売上が伸びた
- ✓ 商品及び製品販売は、マイクロリサーチが連結範囲に入ったことで増加
- ✓ 営業利益は新収益基準と円安の影響で下げた

	2021.12期 3Q累計	2022.12期 3Q累計	前年同期比率		通期計画	進捗率
			金額	率		
売上高	21,490	22,307	816	3.8%	34,110	65.4%
SI・ソフト開発	15,801	16,048	246	1.6%	25,470	63.0%
情報処理	4,250	4,438	188	4.4%	6,072	73.1%
商品及び製品販売	1,438	1,785	347	24.2%	2,568	69.6%
その他の収益	0	34	34		0	
営業利益	1,401	985	▲ 415	▲ 29.7%	2,312	42.6%
営業利益率	6.5%	4.4%	2.1%pt Down		6.8%	

〔単位:百万円〕

Google事業

- ✓ Chromebook、新収益基準の影響で、売上・利益が落ちた
- ✓ Chromebookの台数は半分以下になった
- ✓ 円安の影響で、利益が下がった

Google(Google Workspace)導入企業数

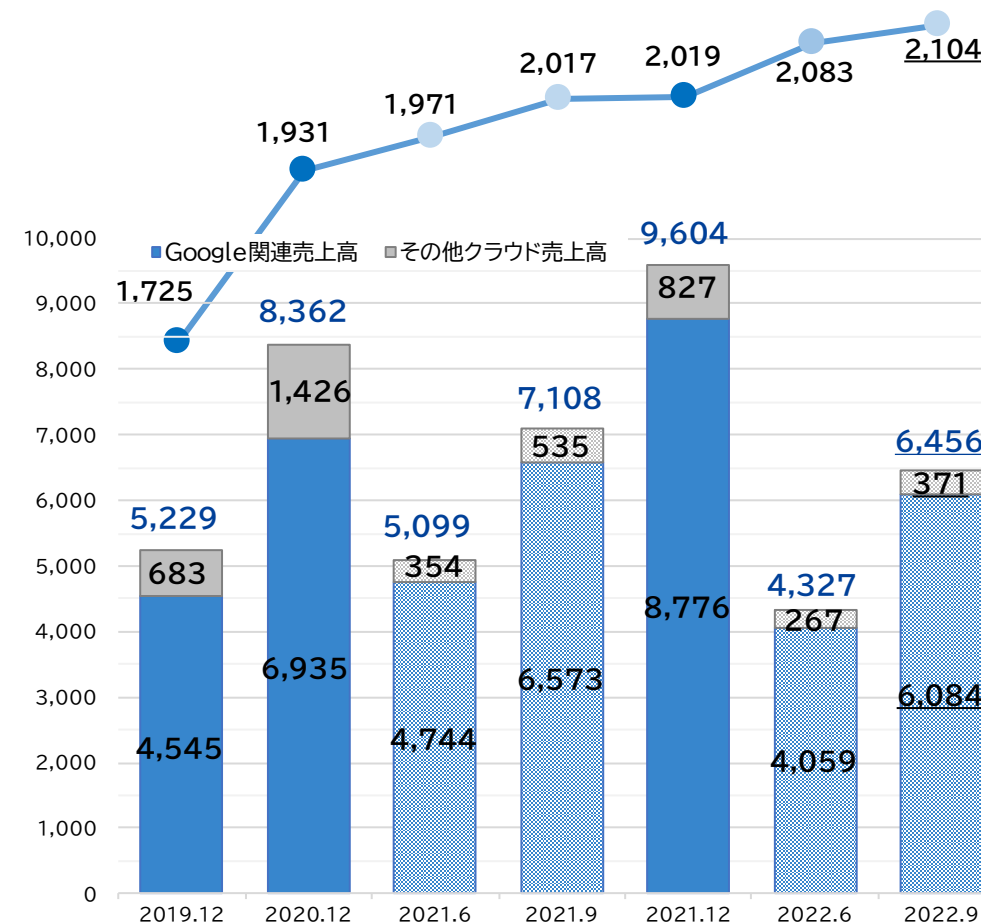
: 2,104 件

クラウド関連サービス売上

: 9.2 % Down

※ ゴーガ社のパッケージやMAP関連含みません

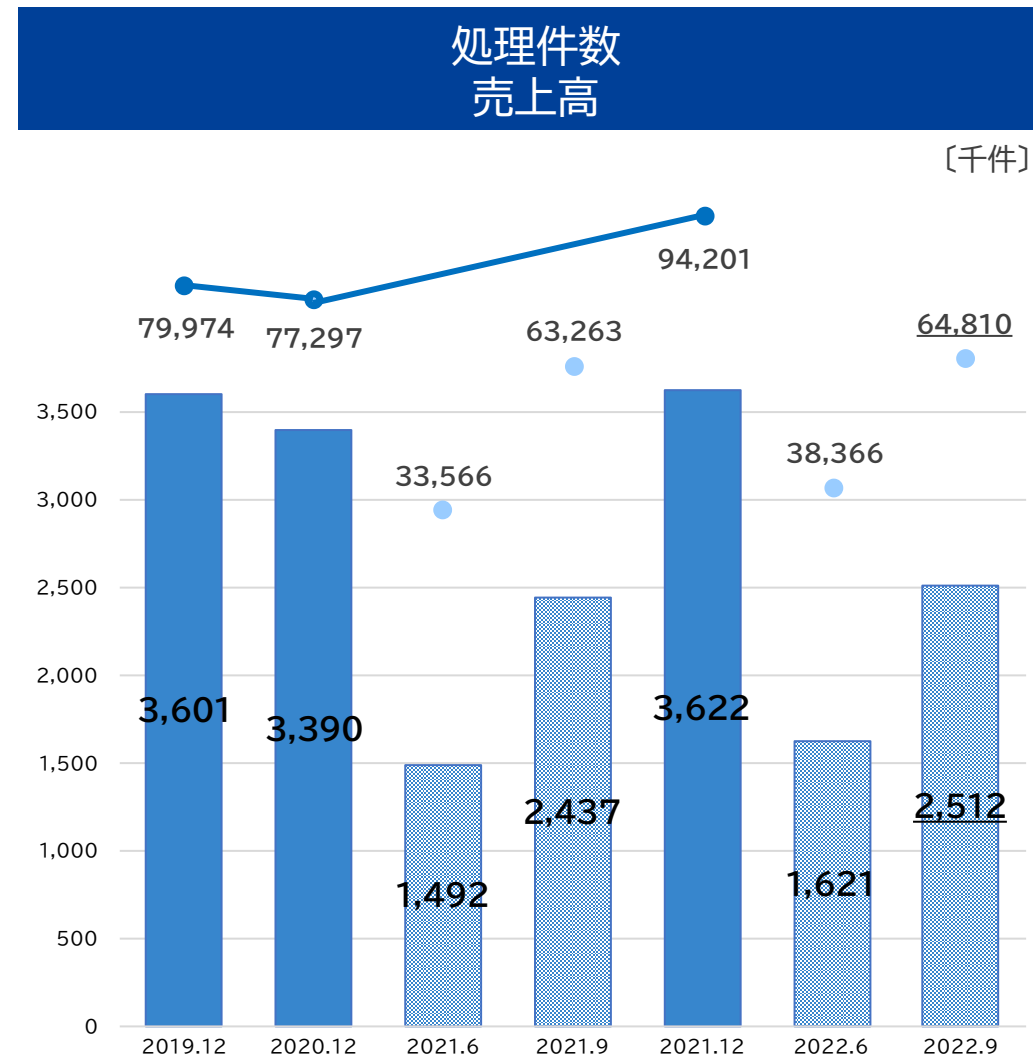
Google(Google Workspace)導入数 クラウド関連売上高



〔単位:百万円〕

BPO事業

- ✓ 処理件数も着実に増えている
- ✓ 請求書作成代行の件数は全処理の50%に増えている
- ✓ DSKマルチインボイスにも期待
- ✓ 部材等の仕入れ価格上昇があり、利益を圧迫



〔単位:百万円〕

- ✓ 主力の収納・集金代行サービスは、新規獲得先が順次稼働し、着実に増えている
- ✓ 送金サービスはコロナの影響に加え円安により送金の手控えが見られる
- ✓ 営業利益は、新規獲得先の影響で増加に転じた

	2021.12期 3Q累計	2022.12期 3Q累計	前年同期比率		通期計画	進捗率
			金額	率		
売上高	14,657	15,687	1,030	7.0%	21,390	73.3%
収納・集金代行サービス	13,315	14,262	947	7.1%	19,068	74.8%
オンライン決済サービス	712	760	48	6.8%	964	79.0%
送金サービス	311	301	▲ 9	▲3.2%	522	57.8%
収納代行周辺サービス	265	268	3	1.2%	387	69.3%
その他の収益	53	94	41	78.2%	450	21.0%
営業利益	678	859	181	26.7%	958	89.7%
営業利益率	4.6%	5.5%	0.85%pt Up		4.5%	—

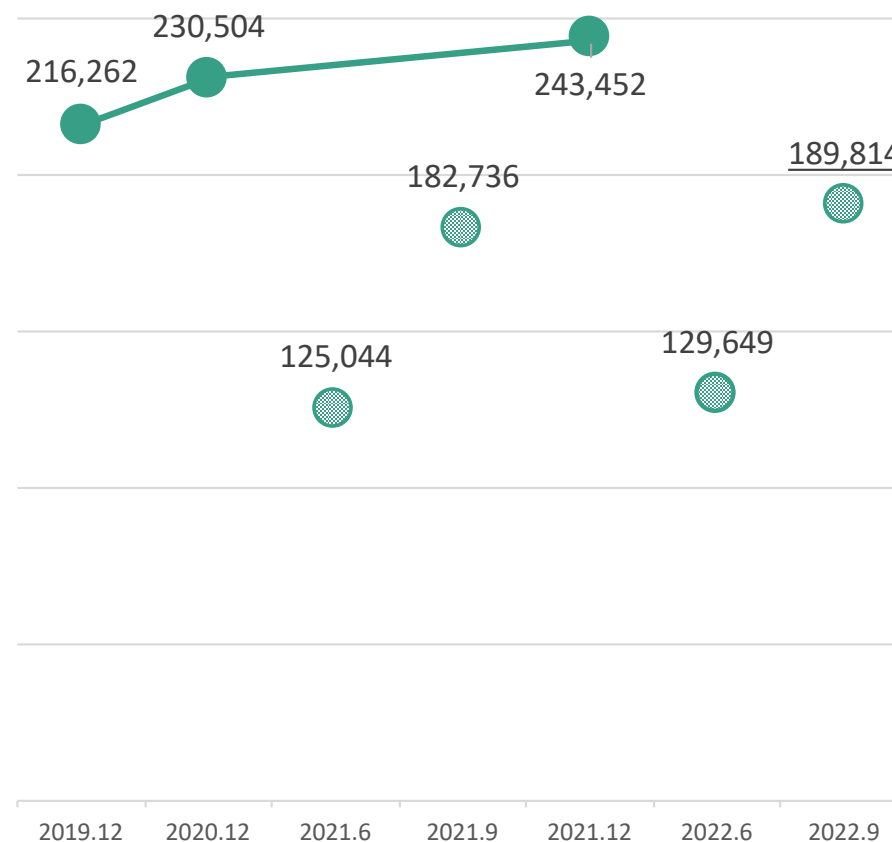
〔単位:百万円〕

収納・集金代行サービス/オンライン決済サービス

- ✓取引先が増えており、利益率も増加し
順調をキープ
- ✓キャッシュレス決済は、利益に貢献

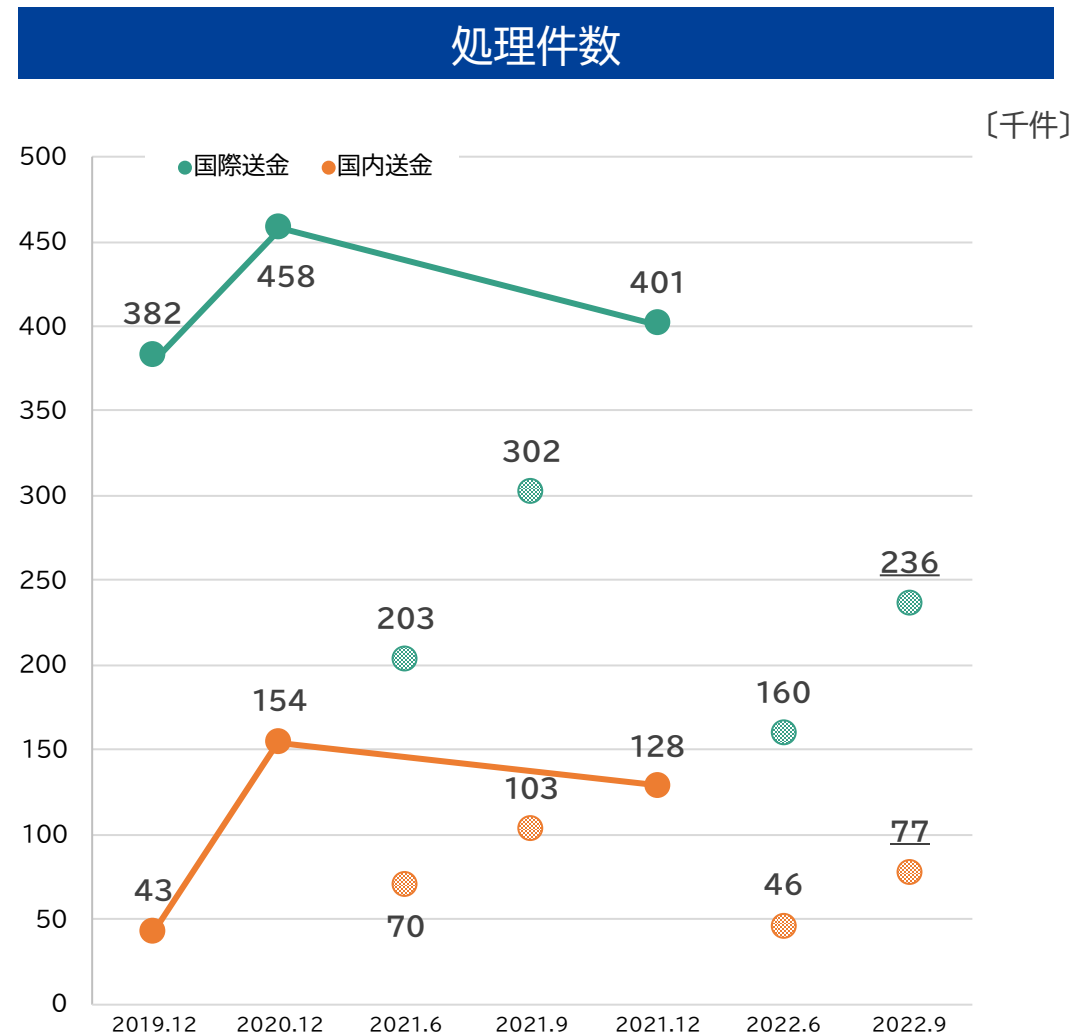
処理件数

〔千件〕



送金サービス/収納代行周辺サービス

✓ 前期比マイナス基調が継続しているが、
黒字基調は続いている



情報サービスセグメント

非対面営業に対して徐々にお客様も受け入れてもらえるようになってきているように感じているが、まだ、新規顧客へのクロージングには時間がかかっている。リモートワーク、リモート会議等のコロナ特需はもうない。

半導体不足に納品遅延、顧客工事の遅れ等、スケジュールに影響あり。また、一部、H/Wを代替機器等でなんとかしているが、長期化すると影響が大きくなる。原材料等の高騰についても、今度、影響あり。円安による影響はGoogleの仕入れ等にあり。BPO事業においても、部材等の仕入価格上昇があり利益を圧迫。

リモートワークできない業務もあり、業務を止めないためコロナ感染対策を講じているが、今度、低年齢層の感染増や感染の急拡大があると要員の確保が厳しくなる。

現状、DX推進、クラウド化、セキュリティ対策などIT投資は強く、かつ電帳法、インボイス対応など控えており、ウクライナもコロナも、一つのファクターとして捉えており、このタイミングにあった新たなソリューションの開発を目指す。人材不足の問題、報酬や志向のギャップがさらに顕著。

収納代行サービスセグメント

対面での活動がコロナの感染状況により制限があり、まだまだ、ウィズコロナという状態ではなく、営業活動には支障がある状態。

払込票サービスについては、現在大きな影響は受けていないが、来店や現金を伴うコンビニ等での収納は、今後長いスパンでみればニーズの低下の可能性もあるため、オンライン決済、キャッシュレス決済に力を入れていく必要がある。

国際送金において、ウクライナ情勢は、ロシア向け送金の停止、ウクライナ向け口座あて送金手数料が無料となっているが、今期業績にはほとんど影響ないものの、コロナの影響に加えて円安(外国労働者の日本離れが加速する可能性もあり)も日本からの送金ビジネスにはネガティブな要因となっており、マイナス基調。

✓ 決算短信に合わせて、サブセグメントを作成

新サブセグメント	旧決算説明資料用サブセグメント	詳細
収納・集金代行サービス	払込票決済サービス 口座振替サービス	メインのコンビニ等で支払いができる払込票サービスと銀行の口座振替のサービス コンビニ収納代行サービス（DSK後払いサービスは含まない） ゆうちょ振替MT代行サービス キャッシュレス決済サービス（PayPayやLINEPay、銀行Pay…） モバイル決済サービス「モバライ☆DSK」 口座振替サービス
オンライン決済サービス	ペーパーレス決済サービス	クレジット決済サービス ペーパーレス決済サービス 払込票を使わずに様々な決済窓口で便利に支払い 郵送不要、事業者様からお支払い案内メールをお客様に送るだけ
送金サービス	送金サービス	国内送金（第2種資金移動業） 日本国内のお客様への返金や送金など煩雑な業務を正確に代行 イベントなどの中止にともなう返金作業にも便利 国際送金 ウェスタンユニオン国際送金サービスと連携 世界200か国以上、50万か所に送金可能 ファミリーマートのファミポート（事前登録型） WillCall店舗（事前登録不要）
収納代行周辺サービス	収納代行窓口サービス	「払込票」の支払い場所として、コンビニエンスストア・金融機関等だけでなく、スーパーやドラッグストア、各種売店など コンビニ以外のお店でもお支払いする事ができるようになるサービスの導入等
その他の収益	払込票決済サービス	DSK後払いサービス

- ✓ 2021年度 持株会社体制移行 記念配当 5円
- ✓ 2022年度 普通配当 年間35円(中間17円 期末予想 18円) /1株

